

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

昨年度までの活動に加えてより良い取り組みの可能性を探り、下記の活動の3本柱がより充実したものとなるように工夫した。

1、環境教育 2、国際理解 3、地域交流

環境教育における栽培活動において、ユネスコスクールESDアシストプロジェクト助成を受け、昨年度まで借り受けた農地が変わり、園舎周辺の畑を整備することができた。このことにより、それまで遠方での活動であったものから、園敷地内となり、遠方であるための活動制限もなく、栽培活動がより行い易いものとなった。又、その成長の観察や栽培活動全般が取り組みやすいものとなった。



園舎前の畑でじゃがいもを収穫する年長児

園舎周辺での栽培活動が二つ目に充実したものとして、町内会の方の協力を得て、園の隣の公園に設置された花植えポットでの栽培活動がある。町内会の大型ポット3個を借り受けて、年中児と年長児が花植えや水やりなどの世話をを行った。花植え時には町内会の方々も来てくださり、一緒に作業にあたることができ、地域交流を深めることもできた。



町内会の方々と花を植える年長児

また、前年度、全体への教育活動が不足していた反省から、環境教育において、園児全体が理解を深めることができるように、『ユネスコタイム』を新たに設けた。ESDメッセージソングの「僕は世界の大きな一粒の命」をテーマ曲として、それを合図にホールに集まり、月々のテーマに沿った教育活動を展開。活動についてのより深い興味や理解を得ることができた。特に普段の収集活動や食育活動において、世界の窮状にも触れることができ、日本の豊かさにも目を向けて、国際理解を深めることもできた。



園児全員が参加した『ユネスコタイム』

前年度に引き続き廃品を利用しての工作活動は、各部屋での取り組みから、廊下に設けたコーナーでの取り組みに変え、年間を通じて段階的に工作を楽しめるように工夫。廃品を無駄遣いしないような配慮を行い、資源についてのより深い理解を培った。



廃品コーナーで自由工作を楽しむ子どもたち

今年度から飼育活動についてもカリキュラム化。その中で特に地元の「釧路サケの会」の方の声掛けにより、サケの卵をお預かりし、サケの飼育を卵の状態から行うことができた。少しずつ大きくなって海に放流するまでの世話をを行うことで、普段口にしていないサケの生態などへの興味や知識を深めることができた。ユネスコタイムではサケを実際にさばくのを見て、その日の昼食で味わうこともでき、食育活動としても活動が広がった。また、実際に見て触ったサケを描くこともでき、地元釧路への理解を深める活動ともなった。



サケの放流

今年度全般の活動において、昨年度の反省を受けての改善を心がけより良い取り組みを行うことができた。小さなつながりも大きな取り組みに広がる可能性があることを再認識し、これからの活動においても、より深い展開を探る。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()